

- 中央公民館 10/5,12,18,19,26
- 地区公民館 10/4,5,11,12,13,18,19,25,26
- 町立図書館 10/5,12,13,19,26,29
- スポーツセンター 10/5,12,19,26

公民館・社会教育

9月1日(火)待望の児童館開所！愛称は「もりのこ」に決定！ オープニングセレモニー・館内見学会を開催しました

皆様のおかげをもちまして令和8年9月1日(火)より待望の児童館がオープンしました。真新しい館内では連日子どもたちの明るい賑やかな歓声が響いています。

オープンを直前に控えた8月22日(土)には、開所を祝してオープニングセレモニーと館内見学会が盛大に開催されました。

残暑厳しい中お集まりいただいた町民の皆さまご来賓の皆さま大変ありがとうございました。

式典では多くのご祝辞を頂戴したほか、本年4月に公募した児童館の愛称も披露されました。

置戸町児童館の愛称は「もりのこ」。
子どもたちが置戸の森のように豊かにすくすく育ってくれるようにとの願いが込められています。採用された中井美鈴さん、寒河江結央さん、素敵な愛称をありがとうございました。

多くのアイデアをお寄せいただいた皆様にも改めまして心から御礼申し上げます。

テープカット式では放課後児童クラブに通う小学校1年生10名がご来賓とともにさみを入れたほか、「私たちは一生懸命遊ぶことを誓います！」と元気よく宣言。大きな拍手が湧きおこっていました。式典終了後の見学会にも多くの方にご参加いただきました。

子どもたちや地域の笑顔があらわれ末永く愛される児童館となっていくよう、これからもどうぞよろしくお願いいたします！

(広報おけと10月号にも詳しく掲載しています)



置戸中学校芸術鑑賞事業(一般公開)のお知らせ

本年、文化庁の舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)の実施校に置戸中学校が選ばれました。普段見ることのできない「能楽」を披露いただくため、中学校の協力により、一般町民の方の来場も可能となりました。平日開催ではありますが、是非お越しください！

日時：10月28日(水) 9:40～置戸中学校体育館 演目：土蜘蛛

事前申込制、申込先：中央公民館までお電話ください。(☎52-3075)

札幌学院大学連携事業『遺跡からわかる置戸の歴史』

8月21日、置戸町と協定を締結している札幌学院大学との連携事業として、置戸中学校1年生を対象としたふるさと教育が実施されました。

生徒たちは大学が毎年発掘調査を行っている置戸山2遺跡を訪れ、講師の大塚准教授から考古学や黒曜石、遺跡について説明を受けました。林道には数万年前から人類が石器の材料として用いてきた黒曜石の破片が落ちており、その量に驚いていたようです。学校に戻ってからは実際の遺跡から出た石器を観察し、考古学研究の一端に触れることになりました。生徒たちはこのような実物に触れる体験を通して、生まれ育った置戸の歴史を身近に感じるいい機会となったのではないのでしょうか。



大塚准教授（画像中央）の話を聞く生徒たち

各地区健康と長寿を祝う集い

9／12（土）置戸地区、13（日）秋田地区、14（月）境野地区、15（火）勝山地区で「健康と長寿を祝う集い」が開催されました。本年度の対象者（満75歳以上）の方は641名でした。いつまでもお元気でいてください！



80歳90歳の方へ記念品贈呈



”神付く”獅子舞



美声が響くフミカナショー

まんぷく必至！食のイベント「とみフェス」今年も開催！！

「食べるって楽しい！」「食べるって幸せ！」を合言葉に、今年で4回目となる「とみフェス」が下記日程で開催されます。『名物・置戸給食カレー』を始め、地元食材を使用した「グラスフェッド牛のビーフシチュー」「ヤーコンうどん」「篠原牛串」「ジャージー牛100%ソフトクリーム」など町特産品のほか、道内（札幌、苫小牧、帯広、釧路、北見）・道外（福岡、岐阜）から「うな丼」「タコス・ケバブ」「葡萄豚ソーセージ」「信州おやき」など名店が勢揃い！おなかを満たした後は、調味料やおだし、高級食パン等の物販もあり、食欲の秋を最大限に満喫できる食のイベント、「とみフェス」に是非、お越しください！

日 時：10月3日（土）※雨天決行 11：00～15：00

会 場：中央公民館（前庭・館内）

主 催：とみフェス実行委員会

後 援：置戸町教育委員会

協 賛：北海道物流開発（株）・（株）北海道新聞社・生活協同組合コープさっぽろ

第50回記念町民文化祭 予告

置戸の秋。文化と芸術の秋。季節の風物詩としてすっかり定着している町民文化祭は、昭和48年に置戸町文化連盟が民謡愛好会、置戸吟詠会など多数の団体を集め舞台発表（歳末たすけあいチャリティショー）を開催したことがルーツになります。その後、昭和51年にはじめて「町民文化祭」として企画されて以来、令和8年度でついに50回目を迎えることとなりました。

半世紀を数える長い歴史の中であって、人口減・高齢化・コロナ渦など様々な困難を乗り越えて文化祭が継続されてきたことに対し、先人と今を支える皆様へ心から感謝を申し上げます。

記念すべき本年度は、第50回「記念」町民文化祭として以下のとおり開催すべく準備をすすめているところです。

1年間の町民の皆さまの文化活動の成果を「展示の部」「舞台発表」として一緒に楽しめたいと思います。ぜひお誘い合わせをいただき、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

【と き】 ◆展示の部 10月27日（火）～11月8日（日）

◆舞台発表 11月 3日（火・祝） 午後より

【ところ】 中央公民館 ロビー／講堂／多目的ホール

展示部門の個人出展作品を引き続き募集中！

個人作品を文化祭に出展希望の方は、中央公民館（☎52-3075）までお問い合わせください。

●個人作品の出展は1人3点ほどとさせていただきます（大きさによる）

●プログラム作成の関係上、10月 8日（木）までにご連絡下さい。

第50回町民文化祭記念「小野木 遼 ふるさとコンサート」

～チェロ・ピアノ/コンサート～

町民文化祭では、置戸町出身で札幌交響楽団所属のチェロ奏者である小野木遼さんと、東京学芸大学講師のピアノ奏者入川舜さんをお招きし、チェロとピアノによるコンサートを開催します。クラシックやポップスなど幅広いジャンルから選曲されたプログラムは、子どもから高齢の方までお楽しみいただけたと思います。チケットをお買い求めのうえ、ぜひお越しください！

【日 時】 10月24日（土） 開場14：30 開演15：00（公演1時間30分）

【場 所】 中央公民館 講堂

【チケット代】 大人・こども共通：1,000円（※未就学児は無料）

【チケット販売】 中央公民館・図書館で販売中

「まちづくり青年国内研修」の参加者を募集します！

例年、訓子府町と合同で実施している「まちづくり青年国内研修」の参加者を募集します。

自分たちが住む置戸町から離れ、おもしろい政策やお祭りが行われているまち、ユニークな建造物があるまちなどを視察してみませんか？

対象者：置戸町在住又は置戸町で働いている地域青年

（概ね40歳まで）2名※応募多数の場合は選考

参加費：一人あたり18万円を上限に助成します

日程・行先：国内であればどこでもOK！

すべて参加者の話し合いで決定します！！

その他：事前研修（4回程度）、事後研修を予定

申込期限：10月23日（金）までに、中央公民館までお電話ください。（52-3075）

ファミリーハイキング2026 藻琴山に登ってきました！

9月5日（土）小清水町にある標高約1,000mの「藻琴山」に登りました。標高725mにあるハイランド小清水725に到着後、講師の永井悠太さんから「登山靴の正しい履き方」の実技講習を受け、いざ登山開始！隊列の最後尾には、もう一名の講師である山本晃聖さんが陣取り、参加者の安全対策も万全に頂上を目指し出発！職員が下見登山に来た際は天候に恵まれず、景色がほぼ見られなかったのが嘘のように、ファミリーハイキング当日は、秋晴れのなか、気温も程良く絶好の登山日和！！



「晴れ男」「晴れ女」の参加者の皆さんのおかげですね。登山の道中ハイマツ林の中から聞こえる蝉の声に夏の終わりを感じつつ、スカイライン遊歩道から時折見えるきれいな景色に心奪われながら、約1時間20分で頂上に到着！山頂に辿り着いた人だけが味わえる、阿寒や知床の猛々しい山々や眼下に見える屈斜路湖など360度パノラマを各々堪能し、余韻残るなか下山を開始。登りとは打って変わり、下りは心地よいペースで歩を進め、参加者全員が無事に下山しました。家族や仲間同士、お一人でも参加しやすいファミリーハイキング事業を次年度も計画いたしますので、今回参加できなかった方も次年度実施の際は、ぜひご参加ください！

秋季ミニバレーボール大会参加者を募集します！

- 日 時 混合の部～11月4日（水）から毎週水曜 午後7時試合開始、9時終了予定
女子の部～11月6日（金）から毎週金曜
- ※監督会議～10月21日（水）19時から 中央公民館会議室
- ・大会日程等詳細は、監督会議で決定します。
 - ・ルール確認、組合せ抽選がありますので、必ずご出席ください。
- 場 所 ファミリースポーツセンター アリーナ
- 対 象 高校生以上の町民または置戸町に通勤・通学されている方
- 資 格 4人1チーム（選手登録は6人まで）
- 参加費 なし
- 申込み 10月15日（木）までに置戸町教育委員会社会教育課（中央公民館内）まで
※申込用紙は、スポーツセンター・中央公民館にあります。
- その他 大会までにスポーツ安全保険等へ加入いただきますようお願いいたします。

スポーツトレーナー・健康教室 10月日程のお知らせ

※由利先生の指導時間

□印（毎週火曜日）

10:00～12:00

14:00～16:00

△印（毎週金曜日）

10:00～12:00

※PHYSIT（トレーナー）の指導時間

○印（毎週水曜日）

18:30～20:30

※有馬先生の指導時間（健康体操室）

☆印（毎週火曜日）

19:15～20:45

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					△	
4	5	6	7	8	9	10
	休館日	□・☆	○		△	
11	12	13	14	15	16	17
	休館日	□・☆	○		△	
18	19	20	21	22	23	24
	休館日	□・☆	○		△	
25	26	27	28	29	30	31
	休館日	□・☆	○		△	

初心者向け教室「パークゴルフ楽しもう会」を開催します！

日 時：10月3日（土）・31日（土） ※今シーズンの最終回となります。

集 合：午前8時45分 開始：午前9時00分

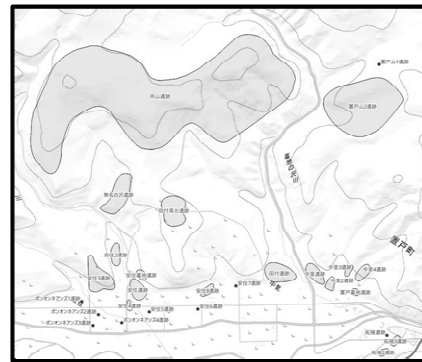
場 所：おけとパークゴルフ場

参加費：無料（プレイ代は各自負担願います）

第7回 『置戸町の埋蔵文化財 vol.1』

みなさんは「遺跡」と聞いてどんな姿を思い浮かべるでしょうか。三内丸山遺跡や常呂遺跡のような住居の再現建築が建ち並ぶ風景でしょうか、それともペルーのマチュピチュのようにかつて存在した都市の痕跡がそのまま残っているような風景でしょうか。実はこれら著名な遺跡のようにひと目で遺跡とわかるように整備されている所は珍しく、日本ないし世界にある遺跡の多くは地面の下に埋もれたままになっているのです。

土地に埋もれた遺跡がある場所は「埋蔵文化財包蔵地」と呼ばれ、現在置戸町には107か所の包蔵地が確認されています。各自治体は「埋蔵文化財包蔵地台帳」と呼ばれる文書を作成して包蔵地が域内のどこに分布しているのか確認できます。北海道内に関してはインターネット上で公開されている「北の遺跡案内」でも遺跡の位置を調べることができます。何千、何万年前の遺跡の位置なんて研究者や歴史好きの人以外興味ないだろうと思われがちですが、実は私たちの暮らしの中で意外なところから重要になってくるのです。(続)



埋蔵文化財包蔵地分布図
(安住・中里)

行事案内

《町民文化祭特別展示》

【町民文化祭50年の歩み】

◎期 間：令和8年10月27日（火）～11月8日（日）

◎会 場：置戸町中央公民館・多目的ホール

今年で第50回を迎える町民文化祭。昭和51年に始まる文化祭の現在に至るまでの歩みを、図書館や公民館に残る写真や映像などの記録から振り返ります。

新着資料

【座卓子（天板）】

置戸町が昭和25年に町制施行したことを記念して町議会議員から公民館へ贈られた幅約167cmの座卓子（ローテーブル）。脚は外されており、天板だけが残る。裏側には議員の名前が墨書されている。材はタモと思われる。



開館情報

《10月の開館日》

火曜日：6・13

土曜日：3・17(最終)

第1・3土曜日、毎週火曜日

午後1時～4時まで



郷土資料館
X (旧 Twitter)
oketo_museum

収蔵資料の一部を
Web で公開中!!



今月の夜間開館は... 10月23日(金) 午後8時まで開館します



☆新着図書情報

■えほん■ ねえねえノントン／くさむらゆうびんきょく／おばあちゃんのあおいバラ／りおのおりがみ／100 このタネがとんでった／もしもコレクション／しろいくうき／すごいぞカラス／ぽんぴきぱいのぽん

■児童書■ まんが 音楽の歴史／図形のひみつをさぐる／古代文明ビジュアルブック／おしごとやりがい図鑑／外国につながるのある人とともに生きる／小学生でもできるはじめてのお菓子／もっと楽しい！恐竜たちの飼い方／マイクラサイエンス でんきのひみつ／ちょっとだけともだち／アクション！ふしぎな係活動

■一般書■ 日本列島の歴史／数字でみる動物図鑑／名画のクラシック／教科書から消えた世界史／農業の疑問50／僕たちは伝統とどう生きるか／里山文庫の暮らし実験室／幸せなお金の使い方／報われない社会で、それでも生きる／山の法律相談所／ニセコ誕生物語／メガホンとペンライト／生成AI 厳選100ガイド／Z世代を甘やかすな／日本の漫画雑誌／電子工作×防犯入門／働く車分解図鑑／パズルで身につく論理的思考力

■読み物■ 海月の骨(朝宮夕)／グロリアソサエテ(朝井まかて)／硝子のマンション(染井為人)／紙上法廷(衣刀信吾)／さとははいつも(沖田修一)／海辺の独裁者(松尾スズキ)／海峡の女神(伊東潤)／縁切りの宿(川越宗一)／預言者の歌(ポール・リンチ)

蔵書検索・新刊検索
はこちらから ➡



☆10月のやまびこ号 巡回日程表 ◎どなたでもご利用可能です◎

8(木)	11:00 福祉センター 15:15 どんぐり	20(火)	16:00 児童館
14(水)	10:30 秋田地区住民センター 15:00 拓殖住民センター 16:00 旧図書館前	23(金)	15:30 置戸高校
15(木)	14:00 勝山公民館 15:00 旧安田商店前	28(水)	10:00 どんぐり 16:00 境野公民館

※ご自宅まで本を届けてほしい方、図書館へご相談ください。

※地域や町内会の行事等にも“出張”します。ぜひお声かけください。

「やまびこ号」のこと、一緒に話しませんか

次の更新では、規模を縮小するワゴン車への変更案が出されているやまびこ号。60余年、置戸町内を走り続けてきたやまびこ号の今後のあり方や新たな活用法について、ご意見をお聞かせくださいませんか。
途中参加・途中退出OKの自由な集まりです、お好きな時間においでください。

日時：10月21日(水) 16:30~18:00 会場：集会室



11月20日、児童文学作家・^{ますいじゅんこ}升井純子さんの講演会を開催します

升井さんの作品では、中学生や高校生が悩みながらも成長していく姿が描かれます。最新刊の『君に向かって線を引く』は、ヤングケアラーの高校生が主人公。本作品のエピソードを中心に話を伺う予定です。
図書館では、この本を数冊用意しています。事前に読んでみようという方、どうぞカウンターでお声かけください。〈詳細は次号でお知らせします〉

《新企画》「図書館お泊まり会」を開催します

～秋の夜長、置戸町立図書館に泊まって心ゆくまで読書を楽しみませんか？～

閉館後の図書館に泊まって、自分の好きな本棚の前で眠ったり、ひと晩中好きな本を読んだりしてみたい…そんな読書好きの皆さんの夢、叶えます！

詳細は置戸町立図書館（52-3202）にお問い合わせいただくか、チラシをご覧ください。

日 時： **10月31日(土)19:00 集合～11月1日(日) 8:00 解散**

参加対象：置戸町立図書館の利用登録のある大人

※高校生以下は参加できません

定 員： **先着15人** ～お早めにどうぞ！ 参加費： **無料**

締め切り： **10月24日(土)18:00**

持 ち 物： 寝袋・タオル類

※ランタン・アイマスクなど（各自の判断で必要なもの）



「図書館 蚤の市」^{のみ いち} 開店します

昨年に引き続き、2回目の開催となる「図書館蚤の市」。出店者は町内の皆さんです。ご自宅で眠っている古本や雑貨を持ち寄って、限定2日間、複数の“お店屋さん”が館内に開店します。

お持ち帰り用の袋や小銭を用意して、掘り出し物を見つけにお出かけください。

日 時： **10月3日(土)・4日(日) 11:00～17:00**

※1日目のみ、午前または午後のみのお店もあります。お見逃しなく♪

場 所： 図書館ロビー・集会室



<頭の体操> と <簡単ストレッチ>

～10月から12月の毎月1回・第三水曜午前中に行います～

日暮れが早くなり、肌寒さを感じる季節になりました。

夏の疲れをとって冬に備える時期です。

前半は頭の“柔軟体操”、後半は呼吸も意識して“ゆっくりストレッチ”を行います。

最近図書館とご無沙汰の方も、体験済みの方も、どなたもお気軽にご参加ください。

日 時： **10月21日(水) 10:30～11:50**

内 容： ①簡単ゲームで頭の体操（今回は何をしましょうか？）

②有馬ゆかりさんによるストレッチ ～普段着でOKです

定 員： 10名 ※希望者は、図書館（52-3202）へお申し込みください



置中生が作ったおすすめ本のポップ、展示中です

置戸中学校1年生が授業で作成した、おすすめの本を紹介する手書きの「ポップ」を展示しています。図書館所蔵の本も紹介されています。どうぞご覧になってください。

展示期間： **10月11日(日)まで** 会 場： 集会室

厚さ、2.0ミリ。 — よく飛ぶ竹とんぼの、材料の話 —

竹とんぼを、作ったことはありますか。

竹を削り、羽をつくる。それだけの、昔からのおもちゃです。

けれど、よく飛ぶ竹とんぼには、条件があります。羽の重さです。重すぎれば上がらず、薄すぎれば折れる。

試作を重ねて、ひとつの数字にたどり着きました。

厚さ2.0ミリ。

子どもの手でも削れて、いちばんよく飛ぶ厚さです。

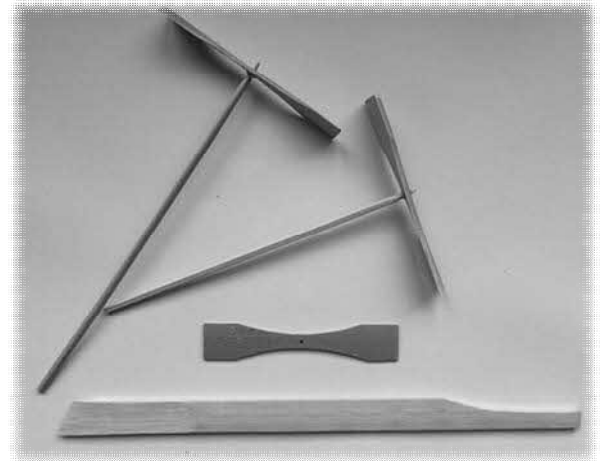
ただ、この「厚さ2.0ミリの、まっすぐな竹の板」は、普通のお店には並んでいません。

大工が使う「墨差し」という竹の道具が近い厚みだと気づき、代わりに使えないか試したこともあります。今は遠くの竹材店に、コンマ数ミリの厚さや、幅、長さを相談しています。

当日、手元に配られるのは、ただの竹の板です。

その一枚に、削りやすさと、飛び方の答えを探した時間が入っています。

竹とんぼを見かけたら、羽の厚さを、少し見てみてください



置戸小学校4年生が、見学に来ました。

9月4日、置戸小学校の4年生が森林工芸館を訪れました。

地元の木がどう加工され、オケクラフトになるのか。実際の木材と映像を見ながら、お話ししました。皆さん、熱心にメモを取っていました。

質問は、あらかじめ考えてきてくれたものに、ひとつずつ答えていきました。

「一番人気の食器は何ですか」

「機械を使うのは怖くないですか」

「重たい丸太から、軽いお皿ができるのはなぜですか」

「一人前の職人になるには、どれくらいかかりますか」

答えながら、こちらが考えさせられる質問もありました。

木とものづくりに向けられたまなざしは、私たちの励みになります。

4年生の皆さん、ありがとうございました。

